

JENESYS2.0及び北米地域との青少年交流**韓国中学生訪日研修団 1、2 団****訪問日程 平成 25 年 5 月 23 日(木)～5 月 29 日(水)****1. プログラム概要**

JENESYS2.0の一環として、韓国国立国際教育院で選抜、派遣された韓国中学生訪日研修団1、2団計99名が来日し、5月23日から5月29日までの6泊7日の日程で研修を行いました(1団団長:鄭上鉉(チョン・サンヒョン)東馬中学校校長、2団団長:金寛洙(キム・グァンス)富平女子高等学校校長)。

一行は、「日本を感じる」という研修テーマの下、滞在中、栃木県での中学校訪問や文化体験・視察のほか、先端科学技術の見学や伝統文化体験などを通じて日本の魅力を体感しました。

2. 日程**5/23(木)**

入国(成田国際空港)、研修オリエンテーション

5/24(金)

講義、歓迎昼食会、都内視察(1団:茶道体験、和太鼓体験 2団:浅草見学、和太鼓体験)

5/25(土)

都内視察(1団:日本科学未来館、浅草見学 2団:茶道体験、日本科学未来館)、栃木県へ移動

5/26(日)

華厳の滝見学、日光自然博物館、日光彫体験、日光東照宮見学

5/27(月)

栃木県内中学校訪問

(1団:栃木県立佐野高等学校・同附属中学校 2団:日光市立豊岡中学校)

5/28(火)

栃木県庁によるブリーフィング、東京へ移動、江戸東京博物館、東京タワー見学、報告会

5/29(水)

帰国(成田国際空港)

3. 写真

	
(日本語) 5月24日 講義 (日本政府観光局北祐輔職員)(都内)	(日本語) 5月24日 1団茶道体験(都内)
(母国語) 5월 24일 강의 (일본정부관광국기타유스케직원)(도내)	(母国語) 5월 24일 1단 다도체험(도내)
	
(日本語) 5月25日 日本科学未来館見学 (都内)	(日本語) 5月26日 華厳の滝見学 (栃木県日光市)
(母国語) 5월 25일 일본과학미래관견학 (도내)	(母国語) 5월 26일 계곤 폭포 견학 (도치기현닛코시)

	
<p>(日本語) 5月26日 日光東照宮見学 (栃木県日光市)</p>	<p>(日本語) 5月27日 1団学校訪問 (栃木県立佐野高等学校・同付属中学校)(栃木県佐野市)</p>
<p>(母国語) 5월 26일 닛코동조궁견학 (도차기현닛코시)</p>	<p>(母国語) 5월 27일 1단 학교방문 (도차기현립사노고등학교・동부속중학교) (도차기현사노시)</p>
	
<p>(日本語) 5月27日 1団学校訪問 (栃木県立佐野高等学校・同付属中学校)(栃木県佐野市)</p>	<p>(日本語)5月27日 2団学校訪問 (日光市立豊岡中学校)(栃木県日光市)</p>
<p>(母国語) 5월 27일 1단 학교방문 (도차기현립사노고등학교・동부속중학교) (도차기현사노시)</p>	<p>母国語) 5월 27일 2단 학교방문 (닛코시립도요오카중학교) (도차기현닛코시)</p>

	
(日本語)5月27日 2団学校訪問 (日光市立豊岡中学校)(栃木県日光市)	(日本語)5月28日 栃木県庁によるブリーフィング(栃木県日光市)
母国語)5월 27일 2단 학교방문 (넛코시립도요오카중학교) (도치기현넛코시)	(母国語)5월 28일 도치기현청에 의한 부리핑 (도치기현넛코시)

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○日本の学校、学生との交流について

- ・学校訪問と学生たちとの交流が一番印象的。
- ・日本の子供たちは感情表現をあまりしないという話だったが、実際には韓国サイドが帰る際に涙まで流してくれ、情が深いということを知ったこと。
- ・学校訪問で日本人に対する偏見が消え、一緒に授業を受けて文化について深く知ることができた。
- ・学生たちが韓国語で歓迎のあいさつしてくれたこと。
- ・日本人学生も、韓国人の学生となんら変わりなかったこと。
- ・学校訪問で体験した、折り紙、おはじきなどの遊び。
- ・日本の学生たちのオーケストラ演奏などの発表。日本の学生が歌や楽器が上手なことに驚いた。
- ・訪問を終えて帰るとき、ペアを組んだ日本の学生が別れを惜しんで泣いてくれたこと。
- ・学校の施設が快適であること。
- ・一緒に授業を受けたりして親近感がぐっと増したこと。
- ・基本の生活習慣が徹底し、しっかり安定的に教育を受けた学生たちの姿。
- ・純粹さを忘れない学生の姿。
- ・訪問した学校の教育課程の運営について。(文化、芸術(茶道・書道など)、体育活動を通じた人性教育、基本の充実した秩序教育(学校での携帯使用禁止など))

○伝統、文化、自然に関して

- ・東照宮などの文化的な史跡地を見学して日本の歴史について興味を持てたこと。
- ・茶道、彫刻、生け花、和太鼓、着物着付けなどの文化体験。
- ・たくさん自然が残っている日光。韓国にもこんな場所があればいいのと思った。
- ・着物、浴衣を作る職人がたくさんいる。韓国にも韓服専門の職人がもっと多ければいいのと思った。
- ・先進国なのに自然環境がよく守られていたこと。

- ・街がきれいなこと。
- ・日本科学未来館で見た潜水艦が印象的だった。
- ・環境に関心を持っている姿勢。
- ・韓国と違って日本には都心でも緑が、本来の自然な形で残っているということ。反面、韓国では「無理やり植えた」ように見える。
- ・浅草や日光のように、日本の昔の姿がそのまま残っているところ。

○人間性について

- ・初対面の人にも明るい笑顔で迎えてくれた日本人の姿に感動した。
- ・他人の一生懸命何かを準備する態度など学ぶ点が多かった。
- ・外国人に対して本当に親切に手助けしてくれようとし、友好的だと感じた。
- ・秩序整然とし、他人に迷惑をかけない姿勢がとても印象的だった。
- ・伝統を継承しようとする考え方は、研修中で感じた最も印象的な点だった。
- ・どこに行っても礼儀正しく挨拶をしてくれた。
- ・浅草や茶道を通じて日本の「和」と「一期一会」の精神を十分に感じられた。
- ・誰が命じたわけでもなく、道行く人々が左側通行を実践していたこと。
- ・「待つ」文化を追及する日本人の優秀な秩序意識に感動した。

○その他

- ・この研修を通して他人とうまく折り合ったり、異国の文化を理解したりすることの練習になった。そしてその結果、日本に好感を持ったこと。
- ・日本政府観光局および自治体の観光客誘致の努力を知ることができた。
- ・日本の文化、歴史、技術、生活様式全般を知ることができたこと。
- ・大地震の後の復旧の対応の早さに驚いた。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・韓国の友人にこの研修プログラムを勧めたい。
- ・日本人の公共の場所でのマナーや親切な部分を、韓国人に知らせたい。
- ・整列する文化を伝えたい。
- ・韓国の学生間で「日本人学生はスカートが短くて化粧が濃い」というイメージがあるが、実際にはそのようなことはなく、純粋ないい子ばかりだったことを友人たちに伝えたい。
- ・緑が多い日本を手本にして韓国も緑化が進めばよいと思う。
- ・日本人は落ち着いていて礼儀正しいということを伝えたい。
- ・日本の魅力全般について。
- ・日本は安全な国で、性格も韓国人とそう違わない、ということを家族や友人たちに伝えたい。
- ・研修で体験したすべてのことを伝えたい。
- ・日本の文化と伝統、人々の生活について。
- ・自然環境を守る姿勢について。
- ・帰国したら日本に先入観を持っている友人たちの考えを変えさせたいと思っている。
- ・先端技術の発達を目の当たりにして韓国は見習うべきだと思った。

- ・東日本大地震の痕跡がなく、安全に見えたこと。
- ・日韓は似ている点が多いということ。
- ・今回のすべての経験と感じたこと、韓国人が抱く誤解についてブログを通じて発信したい。